

島を守り続けて100年 これからも地域に根差して



八丈島警察署は1926(大正15)年に創設され、今年は創設100周年になります。その100年のなかで、住民の方々と顔の見える関係性を作り、島の安心と安全を築き上げてきました。長年にわたり島の生活を支え、安心して暮らせる環境を守り続けてきた八丈島警察署の今とこれからの未来について、八丈島警察署署長 瀬戸さんにお話を伺いました。



署長と八丈島とのご縁について教えてください。

50年ほど前、父が東京法務局の八丈島出張所の所長として勤務していたので、私も八丈島に3年間(小学1～3年生)住んでいました。ですので、八丈島を離れてからも、

ずっとふるさとだと思っていて、そのふるさとの八丈島に恩返しをするため、強く希望して着任させていただきました。

八丈島にいた3年間は、友達と遊んだり、海で泳いだり、楽しい思い出ばかりです。ですが、私が小学校3年生の時、昭和50年の台風13号に遭いました。実際に八丈島で暮らした期間は短いのに、大きな台風を2回も経験したのは珍しいと言われます。

都区部の警察署と違うと感じる所について教えてください。

事件・事故が少なく、治安が良いと思います。着任し間もなく2年が経ちますが、つくづく感じていることは、島民の方々の八丈島に対する帰属意識の高さです。人情味に溢れ、自然環境にも恵まれた八丈島に住んでいることに誇りを持ち、島をもっと良くしようとか、島に貢献したいという意識の高い方が多いので、島はいつもきれいでモラルが高く治安が守られていると思います。

ただ、駐車場での事故は多いです。バックする時の事故が多いので、駐車するときにバックで入れて、前から出ることをお勧めします。

八丈島警察署の特徴はどのような所でしょうか。

島部警察署の特徴かもしれませんが、災害警備が多いことが挙げられます。自然災害を防ぐことはできませんが、被害を減らす「減災」をすることはできますので、日頃の備え、台風や地震が起きたらどうするか、「想像」して「準備」することを引き続き大切にしていきたいと思っています。

私たち八丈島警察署でも、災害があったときのために、署員の中で救出救助部隊を編成しています。想定外を想定内にできるようにシミュレーションするとともに、いつでも出動できるように日頃から様々な訓練を実施しています。昨年の台風を教訓として、今後はさらに八丈町、八丈支庁、消防本部、消防団、そして、建設業協会とも連携して、災害に備えたいと思っています。

万が一災害が起きた際には、横間道路で坂上と坂下が分断されてしまうことも予想されるので、事前に人と資材を半分に分けて、対応に備える準備や訓練もしています。

また、八丈島警察署は、島部警察署5署のうち、大島警察署に次ぐ2番目の大きさです。署員40名弱の小さな署ですので、交通係・捜査係など縦割りを排除し、自分の担当係に関係なく助け合いながら任務に取り組んでいます。逆にそうすることによって、専門以外の知識も得られ、署員自身の仕事の幅も広げられるのでいいことだと思っています。

何か大きな事案が発生した時には、本部から応援に来てもらうことにはなりますが、それでも署員全員で、昼夜を問わず休みを返上して、その事案に対応しなければなりません。寡黙に対応してくれている署員には頭が下がる思いで、心から感謝しています。

島だからこそ温かいエピソードはありますか。

地域に根ざした勤務だからこそその出来事がありました。駐在所の子供たちを可愛がってくれて毎日遊びに来ていたおじいちゃんが、2～3日来ないことがあって。そのことを聞いた駐在員が不審に思ってお自宅を訪ねたところ、体調を崩して倒れているのを発見。すぐに救急搬送し、一命を取り留めることができました。八丈島の各地域の皆さんは、赴任した警察官だけでなく、その家族も温かく迎え入れてくださいます。そのため地域との信頼関係を築きやすく、「地域のために貢献したい」という想いも自然と強くなります。

八丈島警察署は、島民にとってどのような存在でありたいと思われませんか。

犯人には毅然として立ち向かい、困っている人には親身になって寄り添う「父親のような強さと母親のような優しさを持った警察でありたい」と思っています。機会あるごとに、署員にもこの想いを伝えています。

最後に「広報はちじょう」を読んでいる地域の皆さんにメッセージをお願いします。

これからも安全で安心して暮らせる八丈島であり続けるために、今後も地域の皆さんと顔の見える、気軽に声を掛け合える関係を大切にしていきたいと思います。また、全力で各種対策に取り組んで参りますので、皆さまのご協力をお願いいたします。



編集後記

署長へのインタビューを通じて、八丈島警察署の皆さんが、地域に根差して八丈島の安心を守り続けてくださっていることを知ることができました。また、災害警備が多いという特徴から、日ごろから災害へ備えているということも、心強いお話でした。

署長の「父親のような強さと母親のような優しさを持った警察でありたい」という印象的な言葉は、地域に根差した八丈島警察署を象徴していると感じました。これからの100年も、これまでの100年と同じように、八丈島の安心と安全が続くことを願っています。



八丈島警察署から注意喚起

特殊詐欺被害が後を絶ちません。八丈島でも実際に被害が発生しています。被害を防ぐためには、犯人からの電話に出ないことが最も効果的です。また、特殊詐欺では国際電話を利用した「アガ電(犯行予兆電話)」が多く確認されています。

- ✓ 知らない番号には出ない
- ✓ 国際電話を利用しない方は着信をブロック
- ✓ 不審な電話はすぐ警察へ相談



《防犯対策例》

固定電話：国際電話の不取扱い申込みなど

携帯電話：警視庁の防犯アプリ「Digi Police (デジポリス)」など

少しでも「おかしい」と感じたら、すぐに警察へご相談ください。

問い合わせ 八丈島警察署 ☎ 2-0110